

2019年度 豊橋創造大学経営学部卒業研究発表会プログラム

日 時：2020年2月4日（火）13:00 – 16:20

会 場：豊橋創造大学 A22・A23教室

セッション－1 （A22教室）【13:00－14:45】

司会：中野聡

| ゼミナール | 発表タイトル |
|-------|---|
| 伊藤 | パワーハラスメント概念の再考 ―ブルデューの「象徴的暴力論」からの考察― |
| | リーダー・メンバー交換理論とストレスマネジメント |
| | 新卒社会人の新しい価値観に対する効果的なアプローチの検討 |
| | 分散型リーダーシップ研究の展開に向けて：概念の独自性の明確化と先行研究レビュー |
| | 教育者，学習者の二者間関係が人材育成の効果に及ぼす影響 |
| 中野 | ケインズ主義はなお機能しているのか |
| | 現代フィリピンの課題―貧困と幸福 |
| | 不動産業―空き家問題を考える |

セッション－2 （A23教室）【13:00－14:40】

司会：今井正文

| ゼミナール | 発表タイトル |
|-------|--|
| 高木 | 女性活躍と企業 |
| | なぜプロ野球人気は高まったのか？～現状分析と今後の展望～ |
| | マルチブランド戦略を成功させるためには |
| 三輪・山口 | 商品パッケージの色展開 ～配色を利用したコンセプトの視覚化についての～考察～ |
| | RPAの活用による業務効率化に関する考察 |
| | RPAの適用可能範囲と業務改善に関する考察 |
| | 日常生活における色の心理的効果の活用 ～内装の色使いによる印象の変化～ |

セッション－3 (A22教室)【14:50－16:20】

司会：高木孝紀

| ゼミナール | 発表タイトル |
|-------|---|
| 中野 | 日本の貧困、豊橋の貧困—どうしたら貧困はなくなるのか |
| 若原・氏原 | 日本会計基準と国際会計基準との違い –のれんとのれんの減損を中心として– |
| | 施設園芸への補助金に関する会計上の取り扱い –主に固定資産を中心として– |
| | 会計情報の開示の有効性について –販売費及び一般管理費・引当金を中心として– |
| | 複雑化する会計制度と会計教育 |
| | 収益認識に関する会計基準 |
| | 日本会計基準、国際会計基準、米国会計基準の比較 –日本企業の財務情報が海外投資家に信用されるために– |

セッション－4 (A23教室)【14:50－16:20】

司会：三輪多恵子

| ゼミナール | 発表タイトル |
|-------|---|
| 今井 | 麻雀牌画像認識に関する一考察 |
| | ディープラーニングを用いた時系列データ予測に関する一考察 |
| | 画像認識におけるCNNモデルの比較に関する一考察 |
| 見目 | プラスチック使用における3Rの必要性 |
| | 再生可能エネルギーを利用した避難所の電力供給システムの検討 |
| | 豊橋における太陽エネルギー利用による戸建住宅の化石エネルギー消費削減効果の検討 |
| | 自然環境と共存した太陽光発電の利活用の検討 |

※オーラル・セッションの各発表者の発表持ち時間は13分（発表：10分、質疑：3分）です。